



平成28年度

医療事故・紛争対応人材養成講座 〔6日間42時間コース〕

近年でも医療事故は頻繁に報道され、医療事故訴訟もまだまだ多く発生しています。医療機関および医療従事者はこのような状況を真摯に受け止め、まずは医療事故の防止の取り組みを進めなければなりません。しかし、そうした取り組みを行っても、実際には、医療事故が発生することがあります。このため、医療機関は、次に事故は発生するという前提で、事故を適正・迅速に解決する体制を整備していなければなりません。また、医療機関の担当者は、そのために必要な知識・技能を備えていなければなりません。

このような観点から、医療事故・紛争対応研究会は、別紙のカリキュラムにより、「平成28年度 医療事故・紛争対応人材養成講座」を開催します。医療機関の管理者や医療安全担当者など、安全・安心な医療の確立に貢献しようとする方々の応募をお待ちいたしております。

平成28年3月
医療事故・紛争対応研究会

●大阪コース

開催場所：株式会社 日本経営 住所：大阪府豊中市寺内2丁目4-1 緑地駅ビル6F

開催日時：①平成28年5月21日（土）・22日（日）9:30~17:10
②平成28年6月18日（土）・19日（日）9:30~17:10
③平成28年7月16日（土）・17日（日）9:30~17:10

講義時間総計
42時間
(詳細時間割参照)

募集締切：平成28年5月6日（金）（受講可能な方にのみ随時ご連絡致します）

●東京コース

開催場所：NTT東日本関東病院 住所：東京都品川区東五反田5-9-22

開催日時：①平成28年 9月3日（土）・4日（日）9:30~17:10
②平成28年10月1日（土）・2日（日）9:30~17:10
③平成28年11月5日（土）・6日（日）9:30~17:10

講義時間総計
42時間
(詳細時間割参照)

募集締切：平成28年8月12日（金）（受講可能な方にのみ随時ご連絡致します）

●以下両コース共通

参加費用：7万円（当研究会会員：6万8千円）

定員：50名（先着順で定員になり次第締切り、その時点で受講可能な方にのみご連絡致します）

対象：医師・看護師・薬剤師・医療技術者・事務職員・医療安全管理者など

（受講時間（6日間、42時間）が示された「受講証」を発行します）

申込方法：参加申込書に必要事項を記載の上、下記のいずれかでお申し込み下さい

①FAX：020-4664-1995（おかけ間違いのないようお願い致します）

②ホームページ上：<http://plaza.umin.ac.jp/dhsc/index.html>

【解説内容】

1. 医療安全管理総論

- ・医療事故の実態と医療安全政策の歴史
- ・医療事故対応の要点／医療事故の法的責任の枠組み
- ・安全管理体制の枠組みと安全活動の基本

2. 医療安全管理体制および医療安全教育

- ・安全管理体制と体制整備の方法
- ・医療安全と診療記録
- ・医療安全教育とその方法
- ・診療記録の監査／模擬カルテ開示

3. 医療安全活動の基本（有害事象の原因分析・再発防止策の検討）

- ・原因分析総論：各種分析手法とその利点・欠点
- ・原因分析：演習（1）（2）（3）
- ・原因分析（メディカルセーフター）の手法
- ・原因分析：受講者による発表、講評

4. 医療事故対応

- ・現場保存と一次検証
- ・事故調査報告書と作成方法
- ・診療関連死におけるオートプシーイメージング
- ・医療事故の患者への情報開示
- ・医療事故の警察届出
- ・医療事故の諸機関への届出
- ・損害保険会社との連絡調整（和解の場合、訴訟の場合）
- ・医療事故の社会への情報公開
- ・記者会見：ポジションペーパーの作成
- ・報道関係者からみた医療事故の社会への情報開示（および実習の講評）
- ・医療事故調査と調査の進め方
- ・診療関連死における剖検
- ・被害者の声
- ・死亡診断書・死体検案書の意義・書き方
- ・医療側当事者への対応
- ・患者側への和解の提案と和解額の算定
- ・記者会見：ポジションペーパーの作成方法
- ・記者会見：演習（1）（2）（3）

5. 医療事故と法・倫理

- ・医療事故の法的責任：民事・刑事・行政上（組織上）の責任
- ・過失（注意義務違反）の判断
- ・インフォームド・コンセント：総論、および説明の要素
- ・インフォームド・コンセント：同意能力・理解・同意の要素
- ・説明同意文書とその作成方法
- ・因果関係の判断

6. まとめ

平成28年度 医療事故・紛争対応人材養成講座(6日間42時間コース) 時間割(予定)

	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限	7時限
	9:30~10:30	10:30~11:30	11:30~12:30	13:10~14:10	14:10~15:10	15:10~16:10	16:10~17:10
第1回	医療安全管理総論			医療安全管理体制および医療安全教育			
(5/21)	医療事故の実態と医療安全政策の歴史	安全管理体制の枠組みと安全活動の基本	医療事故対応の要点・医療事故の法的責任の枠組み	安全管理体制と体制整備の方法	医療安全教育とその方法	医療安全と診療記録	診療記録の監査／模擬カルテ開示
(9/3)	前田正一			藤盛啓成		嶋崎明美	
第2回	医療安全活動の基本(有害事象の原因分析・再発防止策の検討)						
(5/22)	原因分析総論:各種分析手法とその利点・欠点	原因分析(メディカルセーフアー)の手法	原因分析:演習(1)	原因分析:演習(2)	原因分析:演習(3)	原因分析:受講者による発表	原因分析:講評
(9/4)	栗原博之	田中信一郎(講評担当)・栗原博之・音成佐代子					
第3回	医療事故対応						
(6/18)	現場保存と一次検証	医療事故調査と調査の進め方	事故調査報告書と作成方法	診療関連死における剖検	診療関連死におけるオートプシーイメージング	被害者の声	医療事故の患者への情報開示
(10/1)	南須原康行			南須原康行		児玉聡	
第4回	医療事故対応						
(6/19)	死亡診断書・死体検案書の意義・書き方	医療事故の警察届出		医療側当事者への対応	医療事故の諸機関への届出	患者側への和解の提案と和解額の算定	損害保険会社との連絡調整(和解の場合、訴訟の場合)
(10/2)	高橋長裕	前田正一		栗原博之		江原一雅	
第5回	医療事故対応						
(7/16)	医療事故の社会への情報公開	記者会見:ポジションペーパーの作成方法	記者会見:ポジションペーパーの作成	記者会見:演習(1)	記者会見:演習(2)	記者会見:演習(3)	報道関係者からみた医療事故の社会への情報開示(および演習の講評)
(11/5)	入田和男			新聞記者、入田和男			
第6回	医療事故と法・倫理						まとめ
(7/17)	医療事故の法的責任:民事・刑事・行政上(組織上)の責任	過失(注意義務違反)の判断	因果関係の判断	インフォームド・コンセント:総論、および説明の要素	インフォームド・コンセント:同意能力・理解・同意の要素	説明同意文書とその作成方法	質疑応答
(11/6)	丸山英二			前田正一			前田正一

* 講義の中では、時間割に記載がなくても、演習・グループ・ディスカッションが行われる場合があります。そこでは、理論と実践を架橋する解説がなされます。

送付先： 下記のいずれかでお申込みください

① FAX：020-4664-1995

② ホームページ上：<http://plaza.umin.ac.jp/dhsc/index.html>

医療事故・紛争対応 人材養成講座 受講申込書

平成 28 年度 医療事故・紛争対応 人材養成講座の受講を申し込みます。

会員別	<input type="checkbox"/> 会 員 (会員 No. _____) <input type="checkbox"/> 非会員		
会場区分	<input type="checkbox"/> 大阪会場 (5, 6, 7 月開催) <input type="checkbox"/> 東京会場 (9, 10, 11 月開催) (注意：必ずご希望の会場を選択してください。)		
ふりがな		性 別	男 ・ 女
氏 名		生年月日	年 月 日
住 所	〒 _____		
電話番号			
FAX 番号			
E-mail	_____ @ _____		
連絡方法	1. FAX 2. E-mail (E-mail アドレスをお持ちの方は、基本的には E-mail をお選び下さい。)		
所属機関・部署			
職 種 (○で選択)	1. 医師・歯科医師 2. 看護師 3. 薬剤師 4. その他医療技術職 (_____) 5. 事務系職員 6. 教育・研究関係者 7. その他 (_____)		
医療安全分野での 職務経験	1. あり(_____ として) 2. なし (グループワーク時のメンバー構成のためにお尋ねするものです。受講可否には関係しません。)		

* 事務局記載欄

受 付 日： 2016 年 _____ 月 _____ 日

受付番号： No. _____